

# 令和4年度 教育部の運営方針

部	教育部	部長	福島 潔
教育監	中平 好美 (学校教育担当)		

## 【基本方針】

教育部では令和4年度に策定した「第2期柏原市教育振興基本計画」のもと、本市の教育力向上に向けた取組みを推進します。

学校教育におきましては、子どもたちの未来を切り拓く「生きる力」の育成に向け、幼小中一貫教育を軸にした学力・体力向上の取組みや豊かな心を育む教育活動を進めます。学力向上においてはICTを効果的に活用した授業づくりを推進し、子どもたちの「思考力・表現力・判断力」を育成します。

また、学びを支える支援体制を構築するため、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等をはじめとする専門人材を積極的に活用し、多様化する子どもたちへの教育支援に努めます。

安全で快適な教育環境の整備については、昨年度に引き続き市立小中学校のトイレ洋式化、体育館の空調設備設置に向けて取組みを進めます。

生涯学習においては、令和4年度から10年間の計画期間として策定した「柏原市生涯学習推進計画」に基づき、市民が生涯にわたって、いつでもどこでも自主的・自発的に学習に取り組める環境の整備を進めるとともに、青少年の健全育成活動に努めます。なお、成人式については、令和4年度以降も「はたちの集い」として20歳を対象者として成人の日に開催いたします。また市民がスポーツ活動を継続的に実践できる環境を作り出すことで、市民の健康、体力の維持増進に努めます。

更に市民が地域の歴史を学ぶ機会を多く創出することで、柏原市の歴史的・文化的資産の保護と継承を図るとともに、電子書籍の導入や専門講座を充実させることで一層市民の自主学習の機会を増やしてまいります。

## 【重点目標】

1	目標	(4)	やさしさと思いやりを育むまち	分野	学校教育	令和4年度 達成状況
	幼小中一貫教育の推進					B
2	目標	(4)	やさしさと思いやりを育むまち	分野	学校教育	令和4年度 達成状況
	学力・体力の向上					B
3	目標	(4)	やさしさと思いやりを育むまち	分野	学校教育	令和4年度 達成状況
	教育支援の充実					B
4	目標	(4)	やさしさと思いやりを育むまち	分野	学校教育	令和4年度 達成状況
	教育機会の均等と快適な教育環境の整備					A
5	目標	(4)	やさしさと思いやりを育むまち	分野	生涯学習	令和4年度 達成状況
	多様な学習機会と気軽に楽しめる生涯スポーツの提供					A
6	目標	(2)	地域資源を活かした魅力あふれるまち	分野	歴史・文化	令和4年度 達成状況
	文化財の保存、整備、活用					B

### 【達成度について】

- A: 達成(設定した目標を達成することができた。100%)
- B: 概ね達成(概ね目標どおり達成することができた。70%以上100%未満)
- C: 一部達成(目標の一部を達成できた。50%以上70%未満)
- D: 未達成(目標達成に向け取り組んだものの、目標達成にはいたらなかった。50%未満)
- E: 未実施(事業の取りやめなどにより評価不能又は困難。0%)

部(局)名	教育部
-------	-----

重点目標 1	幼小中一貫教育の推進
--------	------------

今年度の達成目標
幼小中一貫教育の推進により、子どもたちが感じる校種間の段差を更に軽減させます。

達成状況	達成度
達成目標の成果指標としていた、生活アンケート「学校は楽しいですか」に「楽しい」と答えた割合(小学校1年生)と、生活アンケート「学校は楽しいですか」に「楽しい」と答えた割合(中学校1年生)は、昨年度と概ね同じ傾向でした。	B 概ね達成

具体的取組	
幼小中一貫教育推進教員を各中学校区に配置します。	
所管室・課	指導課
具体的取組	
わくわくスタート事業や幼小中一貫教育コーディネーター会議を実施します。	
所管室・課	指導課

具体的な取組実績
幼小中一貫教育推進教員を各中学校区に配置しました。専門性を生かして小学校における外国語の指導を担うことにより、小中の連携が進み、子どもたちは校種間の段差を乗り越えやすくなっています。
具体的な取組実績
わくわくスタート担当者会を開催し、各校での取組内容を集約して、共有しました。また、こども施設課と連携し、就学前施設と小学校との交流活動を実施しました。幼小中一貫教育コーディネーター会議を開催し、各校の取組について共有しました。

総合評価・総括
就学前施設と小学校の各担当者が集まり、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿と小学校のつながり」をテーマに協議することで、互いのカリキュラムにおいて幼小の連続性を持たせることができました。また、今年度は「架け橋期カリキュラム委員会」を通して、こども施設課と連携することができました。幼小中一貫教育コーディネーター会議においては、学力の向上、生活指導上の課題等について協議することで、中学校区における特色ある教育の推進につながりました。

全体の達成度
B 概ね達成

今後検討すべきこと
各校区の一貫教育がより効果的なものにブラッシュアップされるよう、取り組みます。

部(局)名	教育部
-------	-----

重点目標 2	学力・体力の向上
--------	----------

今年度の達成目標
ICTを活用した授業改善に取り組み、学力の向上を図ります。
今年度の達成目標
体育の授業や部活動の充実により、体力の向上を図ります。



達成状況	達成度
達成目標の成果指標としていた、全国学力・学習状況調査における対全国比(全国平均正答率を1とする)において、小学校は0.99、中学校は1.01という結果となりました。一方、授業中でのICT活用は、全国や府と比較して少ないことがわかりました。	B 概ね達成
達成状況	達成度
達成目標の成果指標としていた、全国体力・運動能力、運動習慣等調査における所定種目の対全国比は、中学生(2年生男女平均)は下回りましたが、小学生(5年生男女平均)が前年度実施時の値を3.9%上回りました。	B 概ね達成



具体的取組	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力向上推進委員会を年間10回実施します。</li> <li>・ICT支援員、学校司書及び外国人英語指導助手(ALT)を全校に配置します。</li> </ul>	
所管室・課	指導課
具体的取組	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を分析し、広く市民に周知します。</li> <li>・部活動補助指導員を各中学校に配置します。</li> </ul>	
所管室・課	指導課



具体的な取組実績	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・第3期柏原市学力向上計画を策定し、学力向上推進委員会の実施(年間10回)やICTを活用した効果的な授業づくりについての研究が進みました。</li> <li>・ICT支援員を配置し、教員の授業づくりの支援や機器のトラブルに対応しました。</li> <li>・学校司書を全小中学校に配置し活用したことにより、図書室の「学習・情報センター」的機能が充実しました。</li> <li>・ALTを全校に配置し、学んだ英語を実際に活用することを通してコミュニケーション能力を育成しました。</li> </ul>	
具体的な取組実績	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国体力運動能力、運動習慣等調査の結果分析を市のホームページ上に掲載することにより、学校だけでなく広く市民にむけて体力の状況を周知しました。</li> <li>・専門的な技術指導力を備えた外部の指導者を部活動補助指導員として各中学校に配置することにより、専門の競技とは異なる部を顧問する教員を支援し、生徒への指導を充実させました。</li> </ul>	

総合評価・総括
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTを活用した授業改善や学力向上に向けた取組については、「思考力・判断力・表現力」の育成をテーマに、学力向上推進委員会を中心に進めてきました。取組の成果を生かし、各学校でも取り組んでいく必要があります。</li> <li>・体力については、全国と比べ週の運動総時間数が多いことがわかりました。体育の授業はもちろん、それ以外にも体を動かす活動の時間や機会の確保が重要だと考えます。</li> </ul>

全体の達成度
B
概ね達成

今後検討すべきこと
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「思考力・判断力・表現力」を軸にした確かな学力の育成をめざし、教員の授業力を向上させる研修を充実させていきます。また、ICTを有効に活用した「分かる授業づくり」を、より一層推進していきます。</li> <li>・体力向上に向け、子どもたちが楽しんで自ら体を動かそうとする教育活動や取組を進めます。</li> </ul>

部(局)名	教育部
-------	-----

重点目標 3	教育支援の充実
--------	---------

今年度の達成目標
子どもたちが安心して学校生活を送ることができるよう学校の教育支援を充実させます。

達成状況	達成度
達成目標の成果指標としていた、生活アンケート「学校の中に相談できる大人はいますか」に「いる」と答えた全体の割合は、昨年度に比べて3%低下しましたが、中学2年生と3年生については、経年比較でみると上昇しました。	B 概ね達成

具体的取組	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールカウンセラーを全小学校及び教育研究所に配置します。</li> <li>・スクールソーシャルワーカーを2名増員し、計4名を拠点校に配置します。</li> </ul>	
所管室・課	指導課
具体的取組	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育支援指導員や日本語指導員を学校のニーズに応じて配置します。</li> <li>・支援教育コーディネーター会議及び研修会を実施します。</li> </ul>	
所管室・課	指導課

具体的な取組実績
<ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールカウンセラーを3名配置することにより、相談体制を整え、悩みや不安を抱えている児童・生徒及び保護者を支援しました。</li> <li>・スクールソーシャルワーカーを増員し4名配置することにより、関係機関との連携して児童・生徒の様々な環境に働きかける支援を行いました。</li> <li>・両者がそれぞれの専門性を生かし、学校課題の解決・改善を図りました。</li> </ul>
具体的な取組実績
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の教育力や地元の大学との連携を生かし、学生等のボランティアを学校教育支援指導員として学校園に派遣しました。</li> <li>・日本語指導員を増員し、巡回型の日本語指導を行い、日常生活に支障のないよう支援しました。</li> <li>・支援教育コーディネーター研修会を開催し、障がいのある子ども一人ひとりの状況に応じた適切な指導、支援につなげました。</li> </ul>

総合評価・総括
<ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールカウンセラーの全小学校への配置により、心理面での不安の解消や、ニーズに応じた発達検査にスムーズにつなげることができました。今後も早期対応をより一層進めていきたいと考えています。</li> <li>・スクールソーシャルワーカーを4名配置したことに伴い、専門機関との連携が一層進みました。子どもを取り巻く環境の改善につなげることができました。</li> </ul>

全体の達成度
B 概ね達成

今後検討すべきこと
スクールソーシャルワーカーの全中学校区配置を進め、スクールカウンセラーとともに学校での効果的な活用を促進してまいります。

部(局)名	教育部
-------	-----

重点目標 4	教育機会の均等と快適な教育環境の整備
--------	--------------------

今年度の達成目標
小中一貫教育を推進し、教育効果を高める取組みの研究を進めます。
今年度の達成目標
快適な教育環境の整備に取り組みます。

達成状況	達成度
第2期柏原市教育振興基本計画をもとに、新たな「柏原市小・中適正規模・適正配置基本方針」を策定しました。	A 達成
達成状況	達成度
快適な教育環境の整備のため、トイレの洋式化、学校体育館空調設備の設置を進めました。	A 達成

具体的取組	
答申及び、パブリックコメントに基づき、柏原市小・中学校適正規模・適正配置基本方針を作成します。	
所管室・課	学務課
具体的取組	
昨年度に引き続き、トイレの洋式化と学校体育館への空調設置を進めます。	
所管室・課	教育総務課

具体的な取組実績
大学教授や公共団体の代表、小中学校代表などから構成される審議会を開催し、審議を重ね、答申を得ました。またパブリックコメントを活かし、基本方針を策定しました。
具体的な取組実績
国分中学校のトイレ洋式化工事を行いました。また、国分中学校、堅下北中学校の学校体育館に空調設備を設置しました。

総合評価・総括
<ul style="list-style-type: none"> <li>・審議会の開催、パブリックコメントの集約を行い、概ね5年間の「柏原市小・中適正規模・適正配置基本方針」の策定することで、教育効果を高める取組の研究が進みました。</li> <li>・令和4年度の目標として掲げた学校トイレ洋式化工事と学校体育館の空調設備設置について、計画どおり該当する学校の工事を完了し、目標を達成することができました。</li> </ul>

全体の達成度
A
達成

今後検討すべきこと
<ul style="list-style-type: none"> <li>・次回の方針策定にむけ、引き続き児童生徒数の推移予測を行います。</li> <li>・学校トイレの洋式化工事と学校体育館の空調設備の設置工事を継続的に行い、その他の学校設備の整備や修繕に関しても教育環境の安全を守るため、優先順位をつけて行っていきます。</li> </ul>

部(局)名	教育部
-------	-----

重点目標 5	多様な学習機会と気軽に楽しめる生涯スポーツの提供
--------	--------------------------

今年度の達成目標
子どもから高齢者まで気軽に利用できる生涯学習の場を充実させるとともに、図書館の利用人数の増加に努めます。



達成状況	達成度
各種イベント等の実施、電子図書館の運用を開始した結果、図書館利用者が増加しました。	A 達成

今年度の達成目標
市民意識調査の「スポーツ振興」の満足度を高めます。



達成状況	達成度
「柏原シティキャンパスマラソン」、「スポーツフェスティバルin柏原」を3年ぶりに開催したことで、「スポーツ振興」を含む生涯学習の項目において市民意識調査の満足度が前回と比較して上昇しました。	A 達成



具体的取組
公民館では、春季と秋季に分け1年を通して多様な講座を開催するとともに、図書館では電子書籍を新たに導入し、文化センターの利用人数を増加させます。



具体的な取組実績
公民館では多様な市民ニーズやライフスタイルに合わせてご利用いただけるよう、土日や祝日、また夜間においても、様々な講座を開催しました。図書館ではボランティア団体とも連携し、「としょかんマルシェ」や市民総合フェスティバルでのイベント等を開催し、来館者の増加に努めるとともに、より利用者の利便性を高めるため、令和4年10月より柏原市電子図書館の運用を開始しました。



所管室・課	公民館・図書館
具体的取組	
堅下北スポーツ広場等のスポーツ施設の管理運営、柏原シティキャンパスマラソン等の事業の充実により市民が身近にスポーツに親しめる環境を整えます。	
所管室・課	スポーツ推進課



具体的な取組実績
新型コロナウイルス感染症に対する対策を講じながら管理運営に努めました。 また、「柏原シティキャンパスマラソン」については3年ぶりに開催し、市内外より436人の参加がありました。その他「スポーツフェスティバルin柏原」についても3年ぶりに開催し、延べ約1,000人の来場があり、各種スポーツを体験していただくなどスポーツに親しめる環境づくりに努めました。

総合評価・総括
公民館、図書館へ来館していただくため、新型コロナウイルス感染防止に対応しながら各種講座やイベント等を開催しました。また、電子図書館の開始により、視聴覚障害者の方への読書環境の整備に努めました。 生涯スポーツの提供として、柏原シティキャンパスマラソンを始めとしたスポーツ行事についても、3年ぶりに開催し、多くの方に参加いただいたことで改めてスポーツ振興の重要性を認識することができました。

全体の達成度
A 達成

今後検討すべきこと
引き続き図書館利用者及び貸出冊数の増加を図るため、より効果的な方法の検討を進めていきます。またスポーツ振興事業においても、幅広い年代が楽しんで参加できるよう、事業内容の見直しも含めて検討していく必要があります。

部(局)名	教育部
-------	-----

重点目標 6	文化財の保存、整備、活用
--------	--------------

今年度の達成目標
史跡をはじめとする文化財の適切な維持管理及び整備に努めます。



達成状況	達成度
定期的な点検、調査、清掃等、市内史跡の維持管理や整備を行うとともに、清浄泉については斜面保護対策工事、鳥坂寺跡については草刈り等の実施により、文化財の適切な保全を図ることができました。	B 概ね達成

今年度の達成目標
文化財を公開・活用し、地域の歴史や文化に親しむ機会を提供します。



達成状況	達成度
青谷谷尻地蔵尊の説明板設置のほか、企画展や講演会、オンラインによる文化財の紹介を行うことで、地域の歴史や文化に親しむ機会を提供することができました。	A 達成



具体的取組
史跡清浄泉の斜面保護対策事業を実施します。また史跡鳥坂寺跡について、遺構の劣化防止対策を行います。



具体的な取組実績
史跡清浄泉斜面保護対策工事を11月より実施しています。史跡鳥坂寺跡については、草刈を行い遺構の維持管理を行いました。

所管室・課	文化財課
具体的取組	
文化財説明板の設置、改修を順次行います。	
所管室・課	文化財課



具体的な取組実績
文化財説明板1基を製作し、設置しました。



総合評価・総括
史跡などの維持管理については、点検や調査、草刈り等を実施しましたが、史跡の整備については、検討するための委員会を開催できないなど、取組みがやや遅延しております。史跡清浄泉斜面保護対策については、工事に着手しました。また、文化財の活用については、様々な企画展や講演会等を催し、多くの方に資料館へ足を運んでいただくことができました。

全体の達成度
B 概ね達成

今後検討すべきこと
従来からの取組については概ね達成できており、文化財を活用していくための整備や情報発信などについても一定の成果はあるものの、更なる文化財の活用に向けて、幅広い世代を取り込むことができるような、新たな手法の導入などを検討していきます。